



今年もよろしくお願ひします。 3学期スタート!!



いよいよ令和6年度の最終学期が始まります。

本年も鳥之郷小学校の子どもたちが自身の持てる力を存分に発揮し、大きく成長できますよう、全職員で力を合わせて教育活動を進めて参ります。本校の教育活動に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昔から、1月は『行く』、2月は『逃げる』、3月は『去る』といわれます。あつという間に毎日が過ぎていく、そのことをたとえた言い回しですが、まさにそのように感じられます。確かに3学期は登校する日数が一番少ないのですが、期間の短さを感じるのは、日数の少なさだけではないようです。

子どもたちにとって3学期は、一年間のまとめをして、次の学年に進む準備をする学期。また、6年生にとっては、中学校へと巣立つための準備期間でもあります。心の中に『新しい年に頑張りたい。次の学年・学校へ向け新しい自分になりたい』という思いがあふれている時だからこそ充実し『あつという間に過ぎゆく』期間なのです。

子どもたちが、新年に立てた志を永く心にもち、一日一日を実り多いものとしていけるよう、また、失敗を恐れず、自信をもって毎日の学習活動に臨み、自分らしい足跡を残していけるよう支援したいと考えます。

特に今年は「へび年」。蛇は、脱皮をするイメージから「復活と再生」が連想され、不老長寿や強い生命力につながる縁起の良い生き物と考えられているそうです。昔から、植物に種子がではじめる時期、次の生命が誕生する時期などと同様に、新しいことが始まる年になるといわれています。



『令和』となって早くも7年目。今年も国内外のいろいろな情勢については、予測が難しいとの世論です。争いの終わりを待つ地域、自然災害からの復興が待たれる地域も多数あります。アメリカでの政権交代、大阪での関西万博開幕、秋には、日本での世界陸上競技選手権大会もあります。子ども達の学校生活も同様に大きなトピックはたくさんあることでしょう。しかし、一見、単調な繰り返しのように感じる日々の学校生活も、昨年と全く同じことは一つもないことと思います。子ども達は、様々なことに関心を寄せ、疑問をもち、調べたり体験したりしながら学びます。彼らにとってこの一年が『今までの自分から脱皮し、新たな自分を生み出す年』となるよう、保護者の皆様の温かい励ましを引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

